

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

**事業所名**

めばえ

日付 平成 20年 8月11日  
特定非営利活動法人

**評価機関名** ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験8年

評価調査員 在宅介護経験10年

[自主評価結果を見る](#)

[評価項目の内容を見る](#)

[事業者のコメントを見る\(改善状況のコメントがあります!\)](#)

**1. 評価結果の概要**

**講評**

全体を通して(特に良いと思われる点など)

「3と できびだん5(ご)、ハイ」と職員の調子に合わせて、「3と2とできびだんご」。2つのユニットの利用者が1ヶ所に集まって大きな声で答える。音楽療法士の職員のリードに利用者全員が手振りを入れて元気に反応して答えている。伴奏に合わせて唱歌や童謡も一生懸命歌う。「みんなで集まって歌うのは楽しいよ。」と利用者の一人が言っているところへ、法人母体の保育園児が裏庭から「こんにちわー！」とやってきた。一瞬にして利用者のこれ以上ない笑顔と歓声。園児も慣れた様子で、利用者と手をつないでお遊戯。園児に抱きしめられた利用者の幸せそうな顔とうれしそうな園児の顔。「またねー！」と帰っていった園児を思っ、「かわいかったなー！」といつまでも微笑んでいる利用者。

30年以上この地で保育園経営をしてきた法人代表が、地域貢献として始めた高齢者サービスのうち、このホームは開設間もなく2年を迎える。母体の保育園との交流が最も特徴的であり、恵まれた境遇と言えるだろう。高齢者の心を園児が癒し、高齢者が園児に優しい心を育む。かつての家庭にあった世代間の心の交流がこのホームで行われており、将来の人材育成に役立つと頼もしく思った。

このホームのもう一つのいいところは、2つのユニットをつないでいる屋根のある広いウッドデッキがあることである。そこにはベンチやソファなど座るところがたくさんあり、両方のユニットから自由に出てきて、ゆったりと座って外気を楽しむことができる。裏庭を眺めたり、集まった人で歌を歌って楽しんだりしている。また、両ユニットの利用者の交流ができ、面会の家族も気軽に話をしていいる。園児もここからやって来るすばらしい場所がある。

2つのユニットの利用者はそれぞれ個性もあり要介護度にも違いがあるが、全員でのレクリエーションを楽しんだり、家事の手伝いなどできることに取り組んで、心身の機能維持に努め、充実したホーム生活が出来ていると思う。

**特に改善の余地があると思われる点**

設立から約2年、とにかく利用者のホーム内での生活を支えることを第一に考え、利用者の気持ち聞き出すことに重点を置いてきた。生活に落ち着きもできてきたことから、無理のない範囲で活動を地域に広げていく試みをしてみてはどうだろうか。運営推進会議のメンバーに近隣の人も加わってもらい、地域交流や非常時の協力要請の糸口を掴むきっかけになれば良い。

ホームの基本理念として「五徳」というサービス提供者としてすばらしい心構えが掲げられており、職員はそれに沿うべく努力をしている。理念を一つずつ具体的な行動にするために代表者や職員でよく話し合い、職員や利用者家族にもわかりやすい年度計画と目標を定めると良いと思う。

## 2. 評価結果(詳細)

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…: 基本理念である「五徳」を職員なりに理解し、実現に向けて努力している。</p> <p>2. 全体を通して…: ホームの基本理念として法人代表が掲げた「五徳(仁・義・礼・知・信の心)」は、サービス提供者である職員の心がけとして大切にしたいことである。それとは別に、「ホームの目指すサービス」も掲げ、利用者に提供するサービスを約束している。五徳の心で利用者に対応するようにと望む代表の気持ちに応えるよう、職員たちはこの理念の実現に努力しようとしている。理念の5つの語は、人間として持つべき心掛けを表わしており、利用者に対する心の通いの基本である。管理者は、「家庭にいるときのように過ごせるホーム。在宅では出来ない楽しみのできるホーム。」にしたいと頑張っている。具体的にどんなホームを目指すのか、代表や職員でしっかり話し合い、利用者や家族に優しい、そして職員の資質の向上につながっていく行動計画に出来れば良いと思う。</p>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…: 建物、設備などその良さを有効に利用しており、問題なし。</p> <p>2. 全体を通して…: 2つのユニットは左右対称の構造となっている。明るく広々としたリビングルームの南に、屋根つきの広いウッドデッキがある。ここにはイスがたくさん置かれ、のんびりと庭を眺めたり、みんなで歌を歌ったりしている。ここはまた、両ユニットの交流の場となっていたり、園児が尋ねて来たりする場所でもあり、有効に使われている。庭には草花や野菜を栽培しており、利用者が収穫を楽しんでいる。庭やウッドデッキなど建物外を近隣の人たちと交流している場を想像すると暖かい雰囲気となるだろう。</p>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人のできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせて入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…: 自主評価の意味を考え直したことで、昨年の外部評価後に取り組みだ改善事項などにより、要改善項目は昨年度より大幅に減少した。</p> <p>2. 全体を通して…: 管理者を中心に職員間でよく話し合いながら取り組んできたケアの、よい結果が現れていると思う。詳細で明瞭にまとめられた介護計画や記録に基づいて、利用者一人ひとりの気持ちを大切にしながら、食事や排泄などのケア、体操など身体機能維持のための支援など身体面のケアをしっかりと行った上で、精神面のケアも加えているので、利用者も充実した生活を送ることができている。そのうちの一つは、毎日レクリエーションで、全員で毎日のメニューを選んで取り組んでいる。塗り絵などの作品作りやお菓子作りなど様々な楽しみを全員でしている。音楽療法もその一つである。また、家事手伝いなど利用者それぞれができることをしてもらい、役に立っているという気持ちを持ってもらっている。また、利用者同士のうちとけた語らいや、職員が「いつでも聞いてあげるよ。」という気持ちを利用者に伝え、気持ちを大切に受け止める対応が見られ、精神的に安定している。園児との交流もそれをさらに高揚されている。</p>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…: 運営推進会議は開催しているが、地域交流、地域貢献は今後の課題として自覚している。</p> <p>2. 全体を通して…: 設立2年目で今まではホーム内の体制固めに力を入れてきた。今後は、背伸びせず、少しずつよいが、運営推進会議で地域交流や協力要請などの糸口を見つける話し合いを進めてもらいたい。母体である園児との交流は利用者にも園児にもとても役立っている。法人とホームの職員は協力して、利用者の心を大切にするケアを目指している。さらに充実したケアを目指すために職員を採用する意はあるが、時代の流れにより、人材確保が難しくなっているのが残念であるとのこと。「たより」の発送や面会時の声かけなどで、家族との連携をとっている。</p>		